



学びの丘で星空観測会

平成18年8月1日（火）・2日（水） 午後7：30～9：30

「スター・ウィーク～星空に親しむ週間～」は、子どもから大人まで幅広く星空に親しんでもらおうという趣旨のキャンペーンで、1995年からスタートしました。毎年8月1日から7日の一週間を星空に親しむ週間としています。学びの丘もこのキャンペーンに参加し、8月1日・2日の2日間「プラネタリウム・星空観測会」を行いました。両日で、子どもと保護者あわせて140名が星空観測を楽しみました。



プラネタリウム

プラネタリウム観賞と野外星空観測を行う2班に分かれ、プラネタリウムでは星の見方や七夕の話をまじえた夏の星座の見所の学習を、野外では口径30cmの大きな望遠鏡等3台の望遠鏡と大型双眼鏡を使って、月のクレーターや木星とその衛星を観測しました。望遠鏡で月のクレーターを見た人たちからは大きな歓声があがりました。両日も満天の星を仰ぐとはいきませんでしたが、雲の切れ間からわし座・こと座・はくちょう座からなる夏の大三角や、北斗七星等を観測することができました。



星空観測

参加者からは、「月のクレーターと木星を大きな望遠鏡で実際に見られたので感動しました。」「星のことを色々とくわしく教えてくれたので、夏休みの自由研究に役立ちそうです。」「全くの初心者でも楽しく参加できました。」「夏に秋の星座や、冬の星座が見られるのは知りませんでした。」「春、秋、冬の各季節での開催を希望します。」などの感想をいただきました。

また、参加者全員に簡易星座板をプレゼントしました。



（提供：スター・ウィーク実行委員会）